



沢辺税理士事務所通信

平成 30 年 12 月 1 日号

NO.058

なぜゴーン氏は逮捕されたのか

最近テレビ等で連日報道されている日産自動車元会長のカルロス・ゴーン氏の逮捕のニュース。そもそもなぜ逮捕されたのか、不思議に思われている方も多いのではないのでしょうか？私もちょっと違和感を感じております。詳しく見ていきたいと思えます。

その逮捕理由ですが、金融取引法違反です。脱税とかではありません。有価証券報告書(株主に見せる用の決算報告書みたいなもの)に自分の役員報酬を少なく記載した、ということです。株主が投資判断するのはこの有価証券報告書が主な材料ですから、そこに虚偽の記載をされるとたまりませんし、もちろん法律違反になりますので、逮捕はまあ仕方ないとしても、**なぜこの時期に逮捕なのか、というところに違和感がある**わけです。

まず日産は 1990 年代後半に 2 兆円の借金を抱え、倒産寸前と言われていました。そこで日産は 1999 年にフランスの自動車メーカーであるルノー傘下に入り、資金援助を受けました。またゴーン氏が最高経営責任者となり、徹底的なコストカット等を実行しました。その結果 2 年後の 2001 年には(当時としては)過去最高の当期純利益 2,500 億円を達成し V 字回復しました。つまり、**この時のルノーとゴーン氏はまさに救世主だった**わけです。

それだけの功績があるゴーン氏が、年 10 億円の報酬、また未記載のものを含む年 20 億円の報酬を受け取っていたとしても、国際的大企業の相場からみても飛びぬけてもらいすぎている、というほどではないわけです。なぜ少なく記載させたのかはまだ明らかではありませんが(脱税目的かもしれないけど)、**そうはいつでも年間 10 億円という過少記載金額の事を今まで他に誰も知らなかったというのもちょっと考えにくい**と思いませんか？

それが今になって内部告発により発覚し、(国際問題を恐れなと言わんばかりの)電光石火の逮捕劇、メディアも連日の大報道、当時リストラされた従業員までカメラの前に引っ張ってきて「あいつに人生をだいなしにされた」と語らせ、**手のひらを 180 度返したように「ゴーンは悪だった、成敗せねば」との思想を日本国民に植え付ける**がごとくですよ。

この辺もよく報道されていますが、**今では業績、販売台数などは日産がルノーよりはるかに上**を行っています。それなのにルノーは日産の株式の 43% を保有する大株主です(日産はルノー株式を 15% 保有)。日産はもうルノーの助けは必要なくなってきている、逆にルノーは日産の資金や技術を取り込みたい、影響力を保持し続けたい。**お互いの利害関係のズレが相当**あるわけです。(ちなみに日産は上場企業の中でも一・二を争う高配当企業で、ルノーには年間 1,000 億円以上の配当金を支払っている計算になります)

そこで今回の逮捕劇です。フランス政府が後ろ盾のルノーから来たゴーン氏を、あらかじめ温めていた虚偽記載容疑で更迭、ルノーの息のかからない経営陣を敷き、**一気にフランスから日産の主権を奪い返す!**というストーリーです。さて、このままうまくいくかどうか、動向を注視したいと思います。(もしかしたらフランス政府と落としどころができていられるのかもかもしれませんね。だってこんな国際問題を恐れな日本、なかなか見ないですよ)

沢辺税理士事務所 株式会社沢辺会計コンサルタント

〒732-0811 広島市南区段原三丁目3番27号 段原メディカルビル3階

TEL 082-236-3935 FAX 082-236-3936 HP: <http://www.sawabe-ac.jp>